

# 家庭菜園相談室

今月の  
テーマ

## 春の収穫に向けてまき時と病気に気をつけよう！ ～サヤエンドウ～

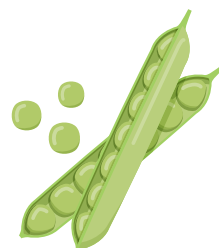
エンドウは収穫する段階で様々な呼び名があります。サヤエンドウ（絹さや）は、エンドウの未熟な莢を食用とする場合の呼び方です。他にも、肉厚な未熟の莢を利用する「スナップエンドウ」、未熟な豆を利用するグリーンピースのような「実エンドウ」、完熟した豆を乾燥させて利用する「エンドウ豆」があります。最近人気のスプラウトの一種「豆苗（とうみょう）」も、エンドウの若芽です。

図1 作型目安



### 栽培のポイント

- エンドウは、特に連作障害を受けやすく、同じ場所で栽培すると生育が悪くなってしまいます。
- まき時が早過ぎると、株が大きくなりすぎて厳冬期に寒害を受けやすくなるので注意します。
- マメ科の植物は根に根粒菌が共生しているので、肥料が多すぎると徒長してしまいます。
- 比較的冷涼で乾燥すると、うどんこ病が発生しやすくなります。日当たりや風通しを良くしましょう。



#### 種まき

畑に直接まく方法とポットにまいて育苗してから植え付ける方法がありますが、直まきは鳥に種を狙われやすいため、ポットにまいた方が良いでしょう。ポットに3~4粒の種をまき、水をたっぷりと与えます。

#### 間引き

種まきから2週間ほどして、本葉が2~3枚になったら、1ポットあたり2本に間引きます。サヤエンドウは冬越しさせる作物なので、幼苗は比較的寒さに強いですが、大苗は耐寒性が弱くなるので注意しましょう。

#### 畑の準備

植え付けの2~3週間前に完熟堆肥2<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup>、苦土石灰150<sup>g</sup>/m<sup>2</sup>をまき、深さ30<sup>cm</sup>位までよく耕します。植え付けの1週間前には化成肥料(N:P:K=8:8:8)50<sup>g</sup>/m<sup>2</sup>を施し、よく耕しておきます。畝幅100<sup>cm</sup>、畝高10<sup>cm</sup>ほどの畝を作ります。

#### 植え付け

ツルが伸び過ぎると、植え付けの時にツルが絡まって作業しづらくなりますので、伸びる前に植え付けましょう。

#### 支柱立て

ツルが伸び始める翌年3月頃に、支柱やネットを張って誘引の準備をします。支柱を立て、マス目8~10<sup>cm</sup>位のネットを張ります。巻きひげが絡みやすいように、上下・左右たるまないようにピンと張ります。ツルが伸び始めたら、ツルが落ちたり、折れたりしないように誘引します。風が強い地域や場所では、風上に風よけのために防風ネットを張ると良いでしょう。

#### 整枝

生育が進むにつれて、側枝の発生が多くなります。そのままにしておくと風通しと日当たりが悪くなるので、遅く出てきた枝は適宜取り除きます。

#### 追肥

1回目の追肥は、4月の開花初めを目安に化成肥料(N:P:K=8:8:8)30<sup>g</sup>/m<sup>2</sup>を施します。畝の肩にまき、株元に土寄せをしながら混ぜます。2回目の追肥は、実が付きはじめる頃に行います。この頃は生育が盛んですので、2~3回追肥を行います。

#### 収穫

サヤエンドウは、実が膨らむ前が収穫のタイミングです。開花後20~25日を目安に収穫します。小さな莢の状態でも実が膨らむことがあるので、莢の厚みで収穫時期を判断しましょう。

#### 病虫害

【ハモグリバエ】葉に潜り込み葉肉を食害します。成虫はアブラムシ同様キラキラ光るものを嫌うので、シルバーマルチをしたり反射テープを張ったりすると良いでしょう。【うどんこ病】ツルが混まないように整枝して風通しを良くしたり、窒素肥料を与え過ぎないように注意しましょう。また、高温乾燥時には草勢が衰えないように水を切らさないようにしましょう。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。